

令和7年度 西中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

令和7年度 西中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日	学校	生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)		平均IRTスコア	
			国語	数学	国語	数学	理科	
3年 4月17日	学校	77	59	48	4.8	8.7	553	
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2	489	
全国		—	54.3	48.3	6.7	10.6	503	

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日	学校	生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3年 9月2日	学校	77	67.5	54.5	55.6	51.9	54.2	5.1	5.2	9.1	5.3	4.1
	大阪市	—	64.8	51.5	54.3	46.5	54.4	6.1	5.8	11.1	9.4	6.5
大阪府		—	64.2	51.2	53.9	46.0	53.2	6.8	6.5	12.1	11.0	7.4
2年 1月14日	学校	58	66.2	45.7	64.1	52.9	56.3	5.6	7.6	6.5	5.4	5.4
	大阪市	—	65.2	45.0	56.0	47.9	52.4	6.6	5.6	10.3	4.2	6.9
大阪府		—	64.5	44.3	55.0	46.7	51.8	7.3	6.3	11.7	5.0	7.6
1年 1月14日	学校	80	60.5	58.5	56.2	61.4	66.0	8.9	2.8	7.8	4.2	3.4
	大阪市	—	63.3	58.3	57.6	63.0	66.5	9.1	3.0	7.6	3.7	4.1
大阪府		—	63.1	—	56.7	—	65.2	10.2	—	8.8	—	4.9

※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は化学的領域を選択

※ 2年生の社会はA問題を選択

※ 3年生の理科はB問題を選択

3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年 実施月日	学校	生徒数 (人)	読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと
			【リーディング】	【リスニング】	【ライティング】	【スピーキング】
			(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)
3年 10月10日	学校	74	123.0	124.0	169.3	114.9
大阪市		—	117.4	110.2	146.4	98.4

4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトル ラン	持久走 男子1500m 女子1000m	50m走	立ち 幅とび	ハンドボール 投げ	体力 合計点
	63	(kg)	(数)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(秒)	(cm)	(m)	(点)
2年 男子	学校	28.95	26.09	45.12	51.64	-	409.25	8.00	197.51	20.74	42.20
	大阪市	28.65	26.89	43.47	51.80	-	425.49	8.06	195.02	20.28	41.69
	全国	26.49	25.91	38.94	48.26	-	424.97	8.56	187.64	16.76	36.81
2年 女子	学校	23.15	21.70	46.99	45.74	-	309.66	8.97	166.44	12.43	47.58
	大阪市	23.12	22.70	46.32	46.59	-	318.64	9.03	166.76	12.20	48.14
	全国	21.44	24.00	44.83	45.64	-	301.96	8.90	168.17	11.44	47.95

令和7年度 西中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

◆中学生チャレンジテストについて

3年生は全5教科で府平均を上回った。一方、3年間の伸びはどの教科もほぼ横ばいであった。

2年生は数、理、英において府平均を上回り、昨年度よりも大きく成績が伸びた。

1年生については、5教科とも府(社理は市)の平均とほぼ同じであった。今後どこまで生徒たちが伸びるかに期待する。

◆全国体力・運動能力調査について

体力合計点で男子39.19、女子45.68の結果であった(全国平均との差は、男子は-2.67点、女子は-1.69点)。「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」のに対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合が男子で61.3%、女子32.5%といずれも全国平均をしまわっていることから、小学校との連携も含め原因の究明と運動やスポーツの楽しみ方の多様性の指導が今後課題である。

◆大阪市英語力調査(GTEC)について

CEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学校3年生の割合が大阪市の掲げる目標値(56%)に対し、75.7%となった。2年生の割合は、50.0%であった。